NO.M1263G00

MG33 ｼﾘｰｽﾞ　デジタル設定器

取扱説明書



御使用前にこの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
その後、大切に保管し必要なときお読み下さい。

御使用上の注意事項

本製品は精密機器ですので取り扱いには十分御注意ください。

1.設置場所は下記の場所を避けて下さい。
- ・直射日光が当たる場所や周囲温度が 0～50℃の範囲を越る場所
- ・塵埃、塩分、鉄粉が多い場所
- ・相対湿度が 45～85%の範囲を越える場所や温度変化が　急激で結露するような場所
- ・腐食性ｶﾞｽ(特に硝化ｶﾞｽ、ｱﾝﾓﾆｱｶﾞｽ等)や可燃性ｶﾞｽのある場所
- ・振動、衝撃の激しい場所
- ・水、油、薬品などの飛来がある場所
- ・ﾗｼﾞｴｰｼｮﾝﾉｲｽﾞの影響が考えられる場所

2.各種ｱﾅﾛｸﾞ出力機器との接続について
ﾉｲｽﾞによる誤動作防止として次の対策をとって下さい。
- ・入力ﾗｲﾝに１芯ｼｰﾙﾄﾞ線を御使用下さい。
- ・入力ﾗｲﾝは高圧線や動力線との平行配線、同一電線管配線を避け、必ず単独配管とし、できるだけ短く配線して下さい。

3.供給電源について
電源に大きなﾉｲｽﾞがのっている場合には、誤動作の原因になりますのでﾉｲｽﾞｶｯﾄﾄﾗﾝｽなどを御利用下さい。
また、頻繁な電源の ON/OFF は避けて下さい。内部記憶素子異常になることが有ります。

□保証範囲

（１）この製品の保障期間は納入後１年間と致します。保障期間内に弊社の責による故障が生じた場合には、その機器の故障部分の修理または交換を行います。
ただし、次に該当する場合にはこの保証の対象範囲から除外させていただきます。
①お客様の不当な取り扱い、または使用による場合
②故障原因が納入品以外の事由による場合
③弊社以外の改造、または修理による場合
④その他、天災・災害・戦争などで弊社の責にない場合
なお、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味し納入品の故障により誘発される災害はご容赦いただきます。

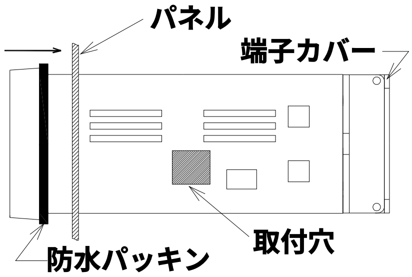
（２）この製品は、人命に関るような状況の下で使用される機器、あるいはシステムに用いられることを目的として設計・製造されたものではありません。

ｴﾗｰ表示

動作中や設定などに異常があれば以下のエラー表示します。

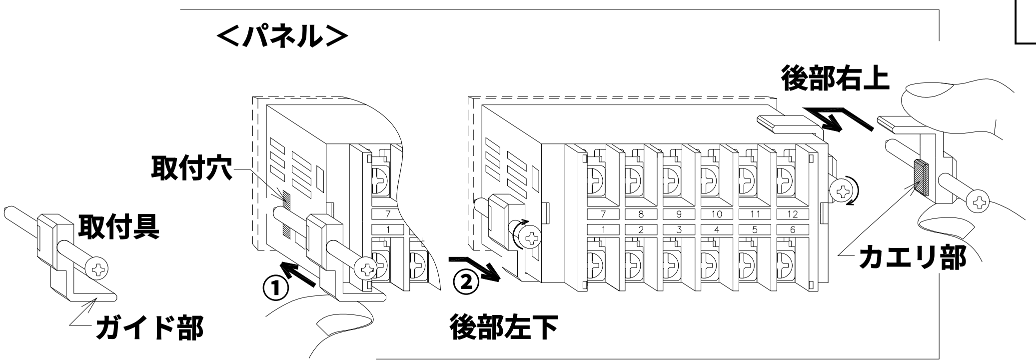
表示	原因	解除方法
Er-2	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定で(ﾊﾟﾗﾒｰﾀ２の設定値)=(ﾊﾟﾗﾒｰﾀ３の設定値)となった場合、計測ﾓｰﾄﾞでｴﾗｰ表示する。	ﾊﾟﾗﾒｰﾀを設定しなおす。
Eror	内部記憶異常で設定ﾃﾞｰﾀ全てが初期値に戻った場合	電源を再投入しｴﾗｰ表示を解除し初期値で計測を行う。 なお、再発する場合はお問い合わせください。

取付方法



防水パッキンを取付け、本体をパネルに前面から挿入します。

付属品
- 防水パッキン（1 個）
- 端子カバー（1 個）
- 取付具（2 個 1 組）
- 取扱説明書（本書）1 部
- 単位シール（2 種類各 1 枚）



取付具ねじ締付トルク
0.15N.m〜0.2N.m

※上記範囲内で前面防水（IP65）になります。

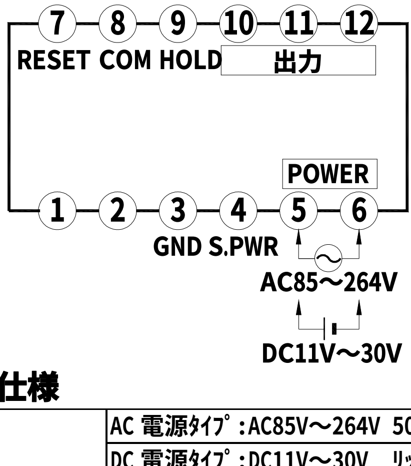
取付具を本体後部右上と左下の 2 箇所にそれぞれ取付けます。
①取付具のガイド部をケース左下コーナーまたは右上コーナーに沿わせながらケースの取付穴にはめ込みます。
②後方へ引きながらネジを 2 箇所均等に締めつけて固定してください。

⚠注意
0.2N.m 以上で締めつけるとケースおよび取付具が変形しますのでご注意ください。

端子配列および仕様

●端子配列

※端子⑩〜⑫は各出力付に場合のみ付きます。



NO	名称		内容
1	アキ		
2	アキ		
3	GND		入力 GND およびｾﾝｻｰ電源(-)
4	S.PWR		＋12V ｾﾝｻｰ供給用電源　※1
5	+	POWER	電源電圧
6	-		
7	RESET		ﾘｾｯﾄ端子
8	COM		端子⑦⑨用 COM（端子③と共通）
9	HOLD		ﾎｰﾙﾄﾞ端子
10・12	（出力）※2		出力端子 (●「出力端子および仕様」参照)

※1 ｵﾌﾟｼｮﾝ -E:＋24V 30mA　　※2 型番により指定

●定格仕様

電源電圧	AC 電源ﾀｲﾌﾟ:AC85V〜264V 50/60Hz 共用
	DC 電源ﾀｲﾌﾟ:DC11V〜30V ﾘｯﾌﾟﾙ率 5%以内
ｾﾝｻｰ供給用電源	DC12V 50mA (DC24V 30mA:ｵﾌﾟｼｮﾝ)
絶縁抵抗	入力-比較出力-電源間 100MΩ 以上（DC500V）
消費電力	約 4.5VA(AC ﾀｲﾌﾟ) 約 4.5W(DC ﾀｲﾌﾟ)
使用周囲温度	0〜50℃(ただし、氷結しないこと)
使用周囲湿度	45〜85%RH(ただし、結露しないこと)
保護構造	IP65（前面ﾊﾟﾈﾙ部）
外形寸法	36^{H}×72^{W}×90^{D}mm
質量	約 200g

⚠注意
電源電圧は使用可能範囲内で御使用下さい。
使用可能範囲外で使用しますと火災･感電･故障の原因となります。

●外部制御端子（端子⑦：RESET 端子　　端子⑨：HOLD 端子）

・端子③（GND）と短絡している間、動作します。	・負論理入力（無電圧入力）
・ON 時、約 7.4mA 流れます。内部抵抗 1.5kΩ	・ｵｰﾌﾟﾝｺﾚｸﾀ(NPN)入力する場合（以下のものをご使用ください。）
・最小 ON 巾：20msec　応答遅れ時間：30msec 以下	ON 時：残留電圧 3V 以下　　OFF 時：漏れ電流 1.4mA 以下

□RESET 端子（端子⑦）

GND（端子③）と短絡している間、表示値をﾘｾｯﾄします。
ﾘｾｯﾄした時の数値はﾊﾟﾗﾒｰﾀ 3 で設定した数値になります。

□HOLD 端子（端子⑨）

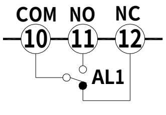
GND（端子③）と短絡している間、ﾎｰﾙﾄﾞ機能（表示値保持）が動作します。（単に表示値保持するのみ。）
※ﾎｰﾙﾄﾞ動作時も表示値の変更は可能で､ﾘﾆｱ出力値および比較出力もこれにより変動します。（ﾎｰﾙﾄﾞ表示とは無関係）
ﾎｰﾙﾄﾞ解除後､変更した表示値に切り替わります。

●出力端子（型番により指定）

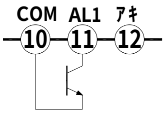
□比較出力端子および仕様（型番により指定）

設定範囲	-199999～999999
出力形態	保持出力
出力応答時間	約 10msec(ﾄﾗﾝｼﾞｽﾀ出力の場合)
ﾄﾗﾝｼﾞｽﾀ出力	NPN ｵｰﾌﾟﾝｺﾚｸﾀ出力 残留電圧:1.5V　最大負荷電圧:30V 最大負荷電流:50mA
接点出力	接点容量(抵抗負荷) AC250 0.5A　AC125V 1A　DC30V 2A

□1点リレーC接点出力付

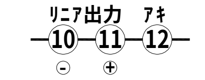


□1点ﾄﾗﾝｼﾞｽﾀ出力付



□ﾘﾆｱ出力端子仕様

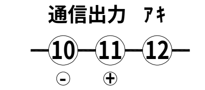
端子⑩（－）、端子⑪（＋）に
配線してください。



出力対象	ﾀｺﾒｰﾀ側・ｶｳﾝﾀ側を選択可能			
出力変換速度	約 10msec			
出力信号	0-5VDC	1-5VDC	0-10VDC	4-20mA
負荷抵抗	5KΩ 以上			0～500Ω

□通信出力端子

端子⑩（－）、端子⑪（＋）に
配線してください。



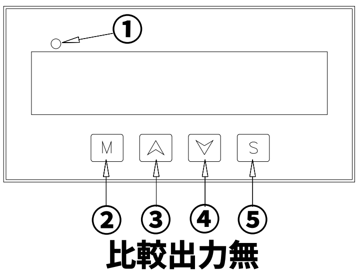
※通信手順など詳細は､別途｢通信出力　取扱説明書｣をご参照ください。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ一覧表

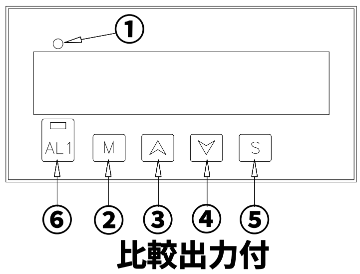
表示および出力に関する数値をﾊﾟﾗﾒｰﾀに設定します。前面ｷｰでﾊﾟﾗﾒｰﾀを設定し内部に記憶します。

<table>
<tr><th colspan="2">ﾊﾟﾗﾒｰﾀ名称</th><th>内容説明</th><th>設定範囲</th><th>出荷時の設定</th></tr>
<tr><td>--1-</td><td>小数点位置</td><td>表示値の小数点位置を設定します。
<table>
<tr><th>設定値</th><th>表示範囲</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>0</td><td>-199999～999999</td><td rowspan="6">（単に小数点をつけるのみ）</td></tr>
<tr><td>0.0</td><td>-19999.9～99999.9</td></tr>
<tr><td>0.00</td><td>-1999.99～9999.99</td></tr>
<tr><td>0.000</td><td>-199.999～999.999</td></tr>
<tr><td>0.0000</td><td>-19.9999～99.9999</td></tr>
<tr><td>0.00000</td><td>-1.99999～9.99999</td></tr>
<tr><td>999-59</td><td>0-00～999-59</td><td>分－秒または時－分</td></tr>
<tr><td>99.59.59</td><td>0.00.00～99.59.59</td><td>時．分．秒</td></tr>
<tr><td>9999.59</td><td>0.00～9999.59</td><td>分．秒または時．分</td></tr>
</table></td><td>0/0.0/0.00/0.000/0.0000/0.00000/
999-59/99.59.59/9999.59</td><td>0</td></tr>
<tr><td>--2-</td><td>上限表示値</td><td>ｱﾅﾛｸﾞ出力の上限出力時の表示値を設定します。
※分秒表示などの場合も 10 進法で設定します。</td><td>-199999～999999</td><td>1000</td></tr>
<tr><td>--3-</td><td>下限表示値</td><td>ｱﾅﾛｸﾞ出力の下限出力時の表示値を設定します。
ここで設定した数値はリセットしたときの表示値になります。
※分秒表示などの場合も 10 進法で設定します。</td><td>-199999～999999</td><td>0</td></tr>
<tr><td>--4-</td><td>出力時間</td><td>ﾘﾆｱ出力が指定の電圧値/電流値になるまでの時間を 0.1 秒単位で設定します。
※「0」設定時は max0.1 秒。</td><td>0/0.2～60.0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>--5-</td><td>電源ﾘｾｯﾄ</td><td>表示データの電源リセットの有無を設定します。
「1」設定時、電源投入時、ﾊﾟﾗﾒｰﾀ 3 で設定した数値になります。
「0」電源ﾘｾｯﾄ無　　「1」電源ﾘｾｯﾄ有</td><td>0/1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>-Pr-</td><td>ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄ</td><td>ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定および比較出力値設定を禁止します。
oFF:ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄなし　　on :ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄあり</td><td>OFF/on</td><td>OFF</td></tr>
</table>

前面ｷｰ説明



比較出力無



比較出力付

	記号	内容
①	ﾎｰﾙﾄﾞﾗﾝﾌﾟ	ﾎｰﾙﾄﾞ表示時に点灯します。
②	MODE ｷｰ	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定を行います。3 秒間押すとﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定状態になります
③	▲ｷｰ	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定状態またはｺﾝﾊﾟﾚｰﾀ設定状態で、数値ｱｯﾌﾟさせる場合に用いる。押し続けるとｱｯﾌﾟ速度が増します。
④	▼ｷｰ	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定状態またはｺﾝﾊﾟﾚｰﾀ設定状態で、数値ﾀﾞｳﾝさせる場合に用いる。押し続けるとﾀﾞｳﾝ速度が増します。
⑤	SET ｷｰ	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定値またはｺﾝﾊﾟﾚｰﾀ設定値の変更を内部ﾒﾓﾘに記憶させます。 表示値の切替を行います。
⑥	AL1 ｷｰ	AL1 の設定および確認を行います。出力時にﾗﾝﾌﾟが点灯します。

設定方法

●ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定方法

手順①→②→の順にﾊﾟﾗﾒｰﾀ1～Prまで設定します。

手順	ｷｰ操作	操 作	内　　容	表 示
①	MODE	3秒間押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ1のNO表示(ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定開始)	- - 1 -
②	SET	1回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ1の設定値表示	0
③	↑および↓	任意に変更	<例>0.0に変更	0. 0
④	SET	1回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ1設定完了。ﾊﾟﾗﾒｰﾀ2のNO表示。	- - 2 -
⑤	SET	1回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ2の設定値表示	0
⑥	↑および↓	任意に変更	<例>1200に変更	1 2 0 0
⑦	SET	1回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ2設定完了。ﾊﾟﾗﾒｰﾀ3のNO表示。	- - 3 -
*	手順⑤⑥⑦を繰り返し、順次、最終ﾊﾟﾗﾒｰﾀPrまで設定する。			- P r -
⑧	SET	1回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀPrの設定値表示	o F F
⑨	↑および↓	任意に変更	<例>ONに変更	o n
⑩	SET	1回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀPr設定完了でﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定終了。計測値表示に戻る。	

○ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定について

1. ﾊﾟﾗﾒｰﾀNO表示状態(- - 1 - など)で↑および↓で任意のﾊﾟﾗﾒｰﾀへ移動できます。　どのﾊﾟﾗﾒｰﾀでも先送り、逆戻りができます。
2. MODEを押すと、どのﾀｲﾐﾝｸﾞでも計測状態に戻ります。このとき、SETを押したところまで入力完了となります。
3. 60秒間設定変更がないと計測状態に戻ります。このときも、SETを押したところまで入力完了となります。
4. ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定中であっても計測は行われているので計測中に設定変更しても、ｱﾅﾛｸﾞ出力など各特殊機能は動作します。
   SETを押して設定完了後、新しい設定で動作します。
5. ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄ(ﾊﾟﾗﾒｰﾀPr)ONの場合、ﾊﾟﾗﾒｰﾀの設定値を表示しても設定変更は出来ません。
   設定変更する場合は、まず、ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄをOFFにした後に設定変更を行ってください。

●比較出力値設定方法および確認方法

○比較出力値の設定方法

下記にAL1の設定手順を記します。

手順	ｷｰ操作	操 作	内　　容	表 示
①	AL1	3秒間押す	設定値を表示(最下位桁点滅)	0.
②	↑および↓	任意に変更	<例>100に変更	1 0 0.
③	SET	1回押す	設定終了。計測値表示に戻る。	

(注1)ｺﾝﾊﾟﾚｰﾀ設定値はﾊﾟﾗﾒｰﾀ1で設定した小数点位置で設定されます。
(注2)最下位桁の小数点は点灯します。(計測値とｺﾝﾊﾟﾚｰﾀ設定値を区別しています。)
(注3)設定中にMODEを押すと計測値に戻ります。設定値の変更はSETを押して完了となります。

○比較出力値の確認方法

下記にAL1の確認手順を記します。

手順	ｷｰ操作	操 作	内　　容	表 示
①	AL1	1回押す	設定値を表示	1 0 0.
②	MODE	1回押す	計測値表示に戻る。	

(注1)ｺﾝﾊﾟﾚｰﾀ設定値はﾊﾟﾗﾒｰﾀ1で設定した小数点位置で設定されます。
(注2)最下位桁の小数点は点滅します。(計測値とｺﾝﾊﾟﾚｰﾀ設定値を区別しています。)
(注3)設定値表示中にMODEまたはAL1を押すと計測値に戻ります。

○ｺﾝﾊﾟﾚｰﾀ設定について

・60秒間放置後、計測状態に戻ります。
・ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄONの場合、AL1を3秒押しても設定状態になりません。ただし、設定値の確認は行えます。

●上下限ﾓｰﾄﾞ設定方法

AL1 の上下限指定を行います。下記に AL1 の設定手順を記します。

4 桁目(左側)	3 桁目	2 桁目	1 桁目(右側)
ｱﾗｰﾑ NO	(消灯)	比較対象	上下限選択
1.:AL1	(消灯)	(消灯)	H:上限出力 L:下限出力

・↑または↓で 1.□□H →1.□□L →1.OFF などに切替ります。
(□：消灯)
・なお、1.OFF は出力動作無(休止状態)になります。

手順	ｷｰ操作	操 作	内 容	表 示
①	MODE+AL1	同時に押す	AL1 の上下限ﾓｰﾄﾞ表示になる	1. H
②	↑および↓	任意に変更	<例>1. bL	1. L
③	SET	1 回押す	設定終了。計測値表示に戻る。	

(注 1)手順①の同時押しのﾀｲﾐﾝｸﾞは先に MODE を押して AL1 を押してください。
MODE のみを 3 秒以上押すとﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定状態になり、AL1 を先に押すと AL1 の比較出力設定値を表示しますので
ご注意ください。
(注 2)設定中に MODE を押すと計測値に戻ります。設定値の変更は SET を押して完了となります。

操作方法および設定例

●操作方法

操作は↑キーと↓キーで目的の数値にし SET キーを押すとそれにあったｱﾅﾛｸﾞ電圧/電流が出力されます。

手順	ｷｰ操作	操 作	内 容	表 示
①	表示値が「0」の場合。(通常、電源投入時は「0」表示します。)			0
②	↑	1 回押す	表示値の最下位桁が点滅する	0
③	↑および↓	任意に変更	1500 に変更	1 5 0 0
④	SET	1 回押す	表示値が 1500 になり、それにあったｱﾅﾛｸﾞ電圧/電流が出力されます。	

以下は、0～5V で回転数(rpm)が変化するモータの回転数設定の設定例です。ただし、1800rpm で 5V 出力、0rpm で 0V 出力する場合。
なお、モータのハンチングを防ぐためパラメータ 4 で 0.5 秒後に希望の回転数になるように設定しています。
（注）本メータは速度信号入力がないため一方的に電圧/電流を発生します。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀ NO.	名称	設定内容	設定例
2	上限表示値	ｱﾅﾛｸﾞ出力の上限出力時の表示値を設定します。 分秒表示などの場合も 10 進法で設定します。	1800
3	下限表示値	ｱﾅﾛｸﾞ出力の下限出力時の表示値を設定します。 ここで設定した数値はリセットしたときの表示値になります。 分秒表示などの場合も 10 進法で設定します。	0
4	出力時間※	ﾘﾆｱ出力が指定の電圧値/電流値になるまでの時間を 0.1 秒単位で設定します。 「0」設定時は max0.1 秒。	0.5

※出力時間で設定した時間後に目的の数値になるように徐々に表示値が上がり（下がり）ます。

オートキャリブレーション　(ﾘﾆｱ出力値と表示値の微調整)

表示値に対するリニア出力値をパラメータで設定しますが､リニア出力の微調整もパラメータで行います。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀ NO.	名称	微調整
2	上限表示値	大きく設定：最大リニア出力は小さくなります。 小さく設定：最大リニア出力は大きくなります。
3	下限表示値	大きく設定：最大リニア出力は小さくなります。 小さく設定：最大リニア出力は大きくなります。

●オートキャリブレーション操作方法

オートキャリブレーションは上記の操作をテスタ等の表示を見ながら自動でパラメータ 2（またはパラメータ 3）に設定するものです。
（注）使用条件：ﾊﾟﾗﾒｰﾀ Pr=oFF

①上限出力値の調整

（例）1800 を表示していて、リニア出力 5.00V となるところ 4.98V であった場合。（0-5V 出力で､パラメータ 2＝1800 の場合。）
これを 1800 表示で 5.00V にする。

手順	ｷｰ操作	操 作	内　　容	表　示
①	1800 を表示していて 4.98V 出力であった。			1 8 0 0
②	MODE＋↑	3 秒間同時に押す	表示値の最下位桁が点滅する	1 8 0 0
③	↑および↓	任意に変更	1780 に変更すると 5.00V になった。	1 7 8 0
④	SET	1 回押す	ｵｰﾄｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ完了。1800 を表示する。	

※③の状態で、リニア出力値は変更した表示により変化します。
テスタなどで出力値が希望の電圧/電流値になった数値で SET を押して下さい。

実行後､ﾊﾟﾗﾒｰﾀに以下の値が自動設定されます。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀ NO	名称	設定値
--2-	上限表示値	1780

※リニア出力の分解能は 4096（12bit）で、この範囲内での調整になります。

②下限出力値の調整

（例）0 を表示していて、リニア出力 0.00V となるところ 0.02V であった場合。（0-5V 出力で､パラメータ 3＝0 の場合。）
これを 0 表示で 0.00V にする。

手順	ｷｰ操作	操 作	内　　容	表　示
①	0 を表示していて 0.02V 出力であった。			0
②	MODE＋↓	3 秒間同時に押す	表示値の最下位桁が点滅する	0
③	↑および↓	任意に変更	20 に変更すると 0.00V になった。	2 0
④	SET	1 回押す	ｵｰﾄｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝ完了。0 を表示する。	

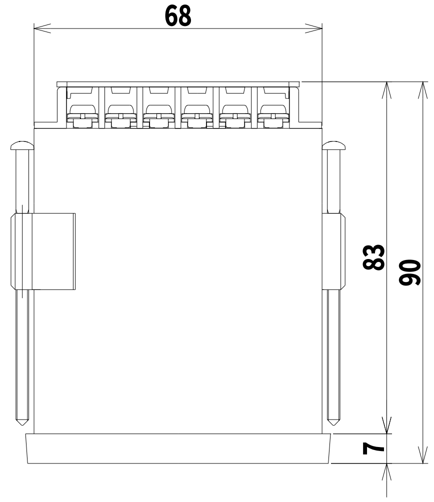
※③の状態で、リニア出力値は変更した表示により変化します。
テスタなどで出力値が希望の電圧/電流値になった数値で SET を押して下さい。

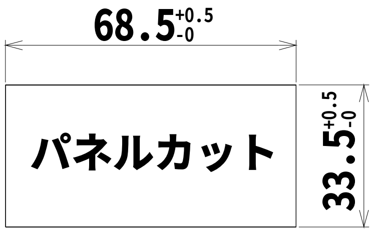
実行後､ﾊﾟﾗﾒｰﾀに以下の値が自動設定されます。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀ NO	名称	設定値
--3-	下限表示値	20

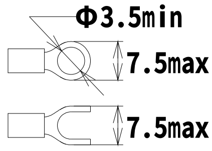
※リニア出力の分解能は 4096（12bit）で、この範囲内での調整になります。

外形寸法図

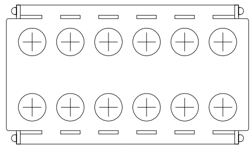




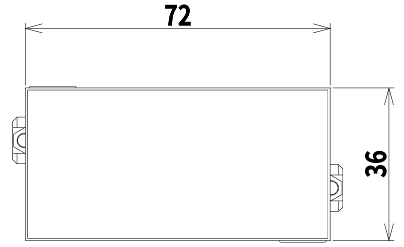
適合圧着端子

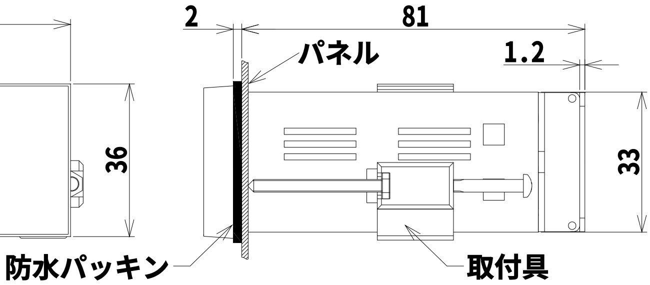


端子カバー



・上下に開閉可能。
・カバー装着後の配線が可能。





型式構成

MG33 ①A - ②2 - ③E

① 電源電圧	
A	AC85V～264V
E	DC11V～30V

② 出力	
(無)	出力無
1	1点リレーc接点
2	1点ﾄﾗﾝｼﾞｽﾀ
A	0-5V
B	1-5V
C	4-20mA
D	0-10V
T	RS485通信出力
R	RS485ﾒｰﾀ間通信

③ オプション	
(無)	無
E	DC24Vｾﾝｻｰ供給用電源

商品に関するお問い合わせは
右記へご連絡ください

Henixヘニックス株式会社
□本　社・技術ｾﾝﾀｰ
〒572-0038 大阪府寝屋川市池田新町 1-25
TEL　072-827-9510　FAX　072-827-9445

NO.M1263GT00

MG33-T　　通信（RS485）表示器

取扱説明書



御使用前にこの取り扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
その後、大切に保管し必要なときお読み下さい。

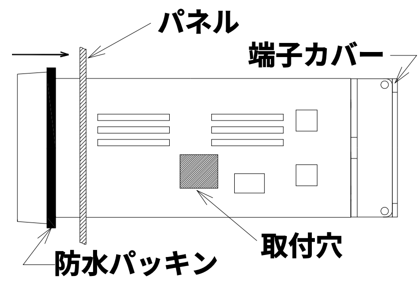
御使用上の注意事項

本製品は精密機器ですので取り扱いには十分御注意ください。
1.設置場所は下記の場所を避けて下さい。
・直射日光が当たる場所や周囲温度が 0～50℃の範囲を越る場所
・塵埃、塩分、鉄粉が多い場所
・相対湿度が 45～85%の範囲を越える場所や温度変化が　急激で
結露するような場所
・腐食性ｶﾞｽ(特に硝化ｶﾞｽ、ｱﾝﾓﾆｱｶﾞｽ等)や可燃性ｶﾞｽのある場所
・振動、衝撃の激しい場所
・水、油、薬品などの飛来がある場所
・ﾗｼﾞｴｰｼｮﾝﾉｲｽﾞの影響が考えられる場所
2.各種ｱﾅﾛｸﾞ出力機器との接続について
ﾉｲｽﾞによる誤動作防止として次の対策をとって下さい。
・入力ﾗｲﾝに１芯ｼｰﾙﾄﾞ線を御使用下さい。
・入力ﾗｲﾝは高圧線や動力線との平行配線、同一電線管配線を避け、必ず単独配管とし、できるだけ短く配線して下さい。
3.供給電源について
電源電圧は使用可能範囲内で御使用下さい。使用可能範囲外で使用しますと火災・感電・故障の原因となります。
電源に大きなﾉｲｽﾞがのっている場合には、誤動作の原因になりますのでﾉｲｽﾞｶｯﾄﾄﾗﾝｽなどを御利用下さい。
また、頻繁な電源の ON/OFF は避けて下さい。

□保証範囲

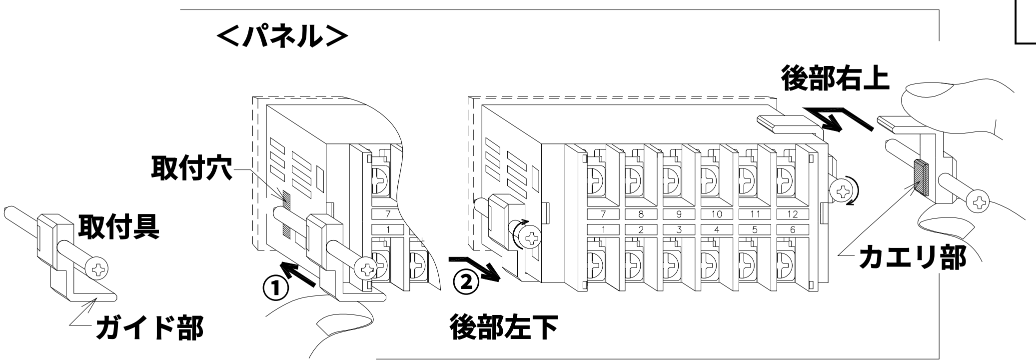
（１）この製品の保障期間は納入後１年間と致します。保障期間内に弊社の責による故障が生じた場合には、その機器の故障部分の修理または交換を行います。
ただし、次に該当する場合にはこの保証の対象範囲から除外させていただきます。
①お客様の不当な取り扱い、または使用による場合
②故障原因が納入品以外の事由による場合
③弊社以外の改造、または修理による場合
④その他、天災・災害・戦争などで弊社の責にない場合
なお、ここでいう保証は納入品単体の保証を意味し納入品の故障により誘発される災害はご容赦いただきます。
（２）この製品は、人命に関るような状況の下で使用される機器、あるいはシステムに用いられることを目的として設計・製造されたものではありません。

取付方法



防水パッキンを取付け、本体を
パネルに前面から挿入します。

付属品
- 防水パッキン（1 個）
- 端子カバー（1 個）
- 取付具（2 個 1 組）
- 取扱説明書（本書）1 部
- 単位シール（2 種類各 1 枚）



取付具ねじ締付トルク
0.15N.m〜0.2N.m

※上記範囲内で前面防水（IP65）になります。

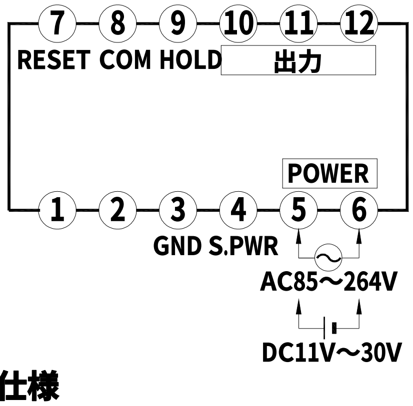
取付具を本体後部右上と左下の 2 箇所にそれぞれ取付けます。
①取付具のガイド部をケース左下コーナーまたは
　右上コーナーに沿わせながらケースの取付穴
　にはめ込みます。
②後方へ引きながらネジを 2 箇所均等に締めつけ
　て固定してください。

⚠注意
0.2N.m 以上で締めつけるとケースおよび
取付具が変形しますのでご注意ください。

端子配列および仕様

●端子配列

※端子⑩〜⑫は各出力付に場合のみ付きます。



NO	名称		内容
1	アキ		
2	アキ		
3	GND		入力 GND およびｾﾝｻｰ電源(-)
4	S.PWR		＋12V ｾﾝｻｰ供給用電源　※1
5	+	POWER	電源電圧
6	-		
7	RESET		ﾘｾｯﾄ端子
8	COM		端子⑦⑨用 COM（端子③と共通）
9	HOLD		ﾎｰﾙﾄﾞ端子
10	T.A		通信出力 A(-)
11	T.B		通信出力 B(+)
12	アキ		

※1 ｵﾌﾟｼｮﾝ -E:＋24V 30mA

●定格仕様

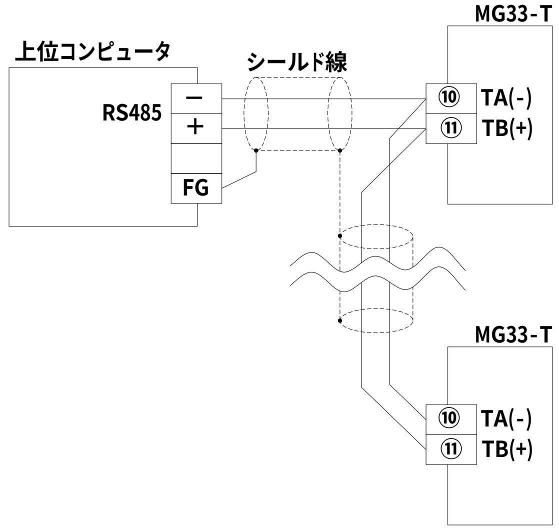
電源電圧	AC 電源ﾀｲﾌﾟ:AC85V〜264V 50/60Hz 共用
	DC 電源ﾀｲﾌﾟ:DC11V〜30V　ﾘｯﾌﾟﾙ率 5%以内
ｾﾝｻｰ供給用電源	DC12V 50mA　(DC24V 30mA:ｵﾌﾟｼｮﾝ)
消費電力	約 4.5VA(AC ﾀｲﾌﾟ)　約 4.5W(DC ﾀｲﾌﾟ)
使用周囲温度	0〜50℃(ただし、氷結しないこと)
使用周囲湿度	45〜85%RH(ただし、結露しないこと)
保護構造	IP65（前面ﾊﾟﾈﾙ部)
外形寸法	36^{H}×72^{W}×90^{D}mm
質量	約 200g

⚠注意
- 電源の投入/遮断は一気に行って下さい。
- 電源再投入は 10 秒以上待機後に行って下さい。
  もし頻繁な電源の入切が原因で消灯した場合、
  電源再投入してください。これは過電流防止回
  路が働いたためで異常ではありません。

●RS485 通信端子および仕様

端子⑩（－）、端子⑪（＋）に配線してください。

通信規格	EIA　RS-485 に準拠
通信方式	2 線式半二重
同調方式	調歩同期
伝送速度	1200/2400/4800/9600/19200/38400（bps）
伝送コード	ASCII
ネットワーク	マルチドロップ方式（最大 1：31 局）
ケーブル長	最大 500m
通信内容	・表示値の書き込み読み込み



●外部制御端子（端子⑦：RESET 端子　　端子⑨：HOLD 端子）

・端子⑧（COM）と短絡している間、動作します。	・負論理入力（無電圧入力）
・ON 時、約 7.4mA 流れます｡内部抵抗 1.5kΩ	・ｵｰﾌﾟﾝｺﾚｸﾀ(NPN)入力する場合（以下のものをご使用ください。）
・最小 ON 巾：20msec　応答遅れ時間：30msec 以下	ON 時：残留電圧 3V 以下　　OFF 時：漏れ電流 1.4mA 以下

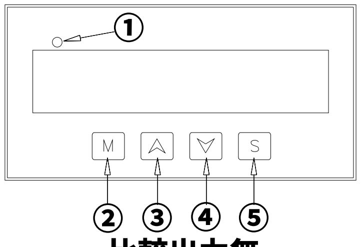
□RESET 端子（端子⑦）

COM（端子⑧）と短絡している間、表示値をﾘｾｯﾄします。
ﾘｾｯﾄした時の数値はﾊﾟﾗﾒｰﾀ 3 で設定した数値になります。
※端子⑧と③は内部接続しています。

□HOLD 端子（端子⑨）

COM（端子⑧）と短絡している間、ﾎｰﾙﾄﾞ機能（表示値保持）が動作します。（単に表示値保持するのみ。）
※端子⑧と③は内部接続しています。

前面ｷｰ説明



比較出力無

	記号	内容
①	ﾎｰﾙﾄﾞﾗﾝﾌﾟ	ﾎｰﾙﾄﾞ表示時に点灯します。
②	MODE ｷｰ	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定を行います。 3 秒間押すとﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定状態になります
③	▲ｷｰ	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定状態で､数値ｱｯﾌﾟさせる場合に用いる。 押し続けるとｱｯﾌﾟ速度が増します。
④	▼ｷｰ	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定状態で､数値ﾀﾞｳﾝさせる場合に用いる。 押し続けるとﾀﾞｳﾝ速度が増します。
⑤	SET ｷｰ	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定値の変更を内部ﾒﾓﾘに記憶させます。 表示値の切替を行います。

ﾊﾟﾗﾒｰﾀｰ一覧表

表示および出力に関する数値をﾊﾟﾗﾒｰﾀに設定します。前面ｷｰでﾊﾟﾗﾒｰﾀを設定し内部に記憶します。

<table>
<tr><th colspan="2">ﾊﾟﾗﾒｰﾀ名称</th><th>内容説明</th><th>設定範囲</th><th>出荷時の設定</th></tr>
<tr><td>--1-</td><td>小数点位置</td><td>表示値の小数点位置を設定します。
<table>
<tr><th>設定値</th><th>表示範囲</th><th>内容</th></tr>
<tr><td>0</td><td>-199999～999999</td><td rowspan="6">（単に小数点をつけるのみ）</td></tr>
<tr><td>0.0</td><td>-19999.9～99999.9</td></tr>
<tr><td>0.00</td><td>-1999.99～9999.99</td></tr>
<tr><td>0.000</td><td>-199.999～999.999</td></tr>
<tr><td>0.0000</td><td>-19.9999～99.9999</td></tr>
<tr><td>0.00000</td><td>-1.99999～9.99999</td></tr>
<tr><td>999-59</td><td>0-00～999-59</td><td>分－秒または時－分</td></tr>
<tr><td>99.59.59</td><td>0.00.00～99.59.59</td><td>時．分．秒</td></tr>
<tr><td>9999.59</td><td>0.00～9999.59</td><td>分．秒または時．分</td></tr>
</table></td><td>0/0.0/0.00/0.000/0.0000/0.00000/
999-59/99.59.59/9999.59</td><td>0</td></tr>
<tr><td>--2-</td><td>上限表示値</td><td>（本仕様に関連なし）</td><td>-199999～999999</td><td>1000</td></tr>
<tr><td>--3-</td><td>下限表示値</td><td>ﾘｾｯﾄ（端子⑦）したとき、ここで設定した数値を表示します。</td><td>-199999～999999</td><td>0</td></tr>
<tr><td>--4-</td><td>表示変更時間</td><td>通常は、「0」設定してください。
上位 PC からの表示値書き換え要求に対して、設定した時間(SEC)でメータ表示を書き換えます。なお、書き換えは徐々に増加（減少）し、設定時間後に目的の表示値になります。
※「0」設定時は max0.1 秒。</td><td>0/0.2～60.0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>--5-</td><td>電源ﾘｾｯﾄ</td><td>表示データの電源リセットの有無を設定します。
「1」設定時､電源投入時､ﾊﾟﾗﾒｰﾀ 3 で設定した数値になります。
「0」電源ﾘｾｯﾄ無　　「1」電源ﾘｾｯﾄ有</td><td>0/1</td><td>0</td></tr>
<tr><td>-C1-</td><td>ﾕﾆｯﾄ NO</td><td>本機の通信ﾕﾆｯﾄ NO を設定します。</td><td>00～99</td><td>00</td></tr>
<tr><td>-C2-</td><td>通信遅延時間</td><td>通信遅延時間は上位 PC などから「コマンドフレーム」の送信を完了してから回線をあけわたし入力状態になるまでにかかる時間を設定。単位：msec。10msec 単位で設定。
コマンド/レスポンスの最適化にご使用ください。
「0」設定は 1～9msec 変動</td><td>0/10～500</td><td>10</td></tr>
<tr><td>-C3-</td><td>通信速度</td><td>通信速度を設定。　単位：bps
※19.2＝19200bps、38.4＝38400bps の意。</td><td>1200/2400/4800/9600/19.2/38.4</td><td>9600</td></tr>
<tr><td>-C4-</td><td>ﾃﾞｰﾀ長</td><td>データ長を設定。　「7」：7bit　　「8」：8bit</td><td>7/8</td><td>8</td></tr>
<tr><td>-C5-</td><td>ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ</td><td>ストップビットを設定。　「1」：1bit　　「2」：2bit</td><td>1/2</td><td>2</td></tr>
<tr><td>-C6-</td><td>ﾊﾟﾘﾃｨﾁｪｯｸ</td><td>ﾊﾟﾘﾃｨﾁｪｯｸを設定。
「0」：パリティなし
「1」：奇数パリティ
「2」：偶数パリティ</td><td>0/1/2</td><td>0</td></tr>
<tr><td>-C7-</td><td>BCC ﾁｪｯｸ</td><td>BCC ﾁｪｯｸの有無を設定。　「0」：BCC なし　　「1」：BCC あり</td><td>0/1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>-Pr-</td><td>ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄ</td><td>ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定および比較出力値設定を禁止します。
oFF:ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄなし　　on :ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄあり</td><td>OFF/on</td><td>OFF</td></tr>
</table>

⚠注意　**通信に関するパラメータ C1～C7 は設定終了後、電源再投入で変更した設定が有効になります。**

設定方法

●ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定方法

手順①→②→の順にﾊﾟﾗﾒｰﾀ1～Pr まで設定します。

手順	ｷｰ操作	操 作	内 容	表 示
①	M	3 秒間押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ1 の NO 表示(ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定開始)	- - 1 -
②	S	1 回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ1 の設定値表示	0
③	▲および▼	任意に変更	<例>0.00 に変更	0. 0 0
④	S	1 回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ1 設定完了。ﾊﾟﾗﾒｰﾀ2 の NO 表示。	- - 2 -
⑤	S	1 回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ2 の設定値表示	1 0 0 0
⑥	▲および▼	任意に変更	<例>200 に変更	2 0 0
⑦	S	1 回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ2 設定完了。ﾊﾟﾗﾒｰﾀ3 の NO 表示。	- - 3 -
*	手順⑤⑥⑦を繰り返し、順次、最終ﾊﾟﾗﾒｰﾀ Pr まで設定する。			- P r -
⑧	S	1 回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ Pr の設定値表示	o F F
⑨	▲および▼	任意に変更	<例>ON に変更	o n
⑩	S	1 回押す	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ Pr 設定完了でﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定終了。計測値表示に戻る。	

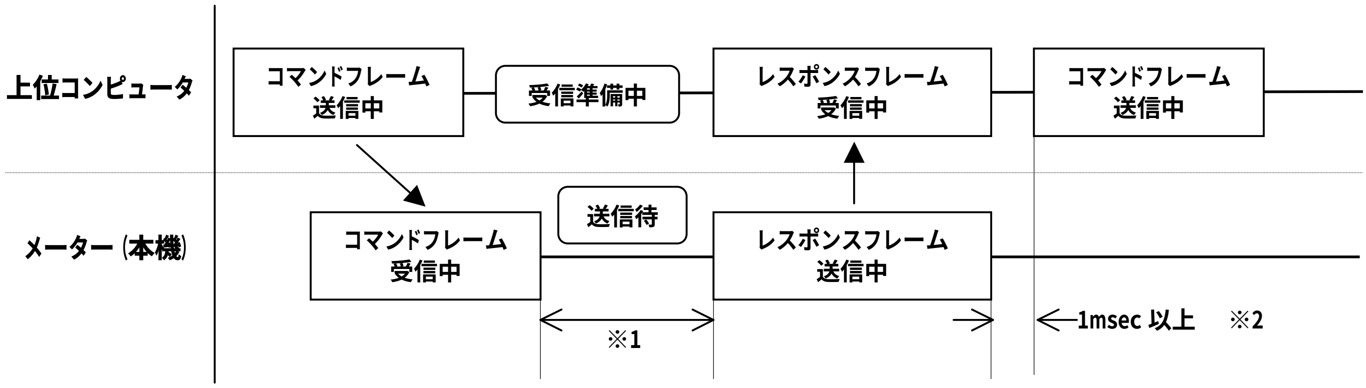
○ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定について

1. ﾊﾟﾗﾒｰﾀ NO 表示状態(- - 1 - など)で▲および▼で任意のﾊﾟﾗﾒｰﾀへ移動できます。
   どのﾊﾟﾗﾒｰﾀでも先送り、逆戻りができます。
2. Mを押すと、どのﾀｲﾐﾝｸﾞでも計測状態に戻ります。このとき、Sを押したところまで入力完了となります。
3. 60 秒間設定変更がないと計測状態に戻ります。このときも、Sを押したところまで入力完了となります。
4. ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄ(ﾊﾟﾗﾒｰﾀ Pr)ON の場合、ﾊﾟﾗﾒｰﾀの設定値を表示しても設定変更は出来ません。
   設定変更する場合は、まず、ｷｰﾌﾟﾛﾃｸﾄを OFF にした後に設定変更を行ってください。

通信内容

1. 通信手順

メーター（本器）は上位コンピュータからの「コマンドフレーム」に対して「レスポンスフレーム」を返します。



※1：通信遅延時間（パラメータ C2 で設定）
※2：上位コンピュータから連続してコマンドを送信する場合、メーターからレスポンスを受信してから 1msec 以上の時間を設けてください。

2. メッセージの構成

・STX から ETX まで全てのコードは（BCC は除く）ASCII コードで表します。
・BCC は誤り検出のためのチェックコードで STX から ETX までの全てのキャラクタの排他的論理和で示します。

データ読み込み（本機の状態を上位コンピュータから読み込む場合）

●データ読み込みコマンド

データ読み込み要求メッセージ構成

STX	0	0	0	0	ETX	BCC
①	②		③		④	⑤

①STX：スタートコード
②アドレス：通信パラメータ C1 で設定したユニット NO
③識別子

設定内容	識別子	備考
表示データの読み込み	００	
ﾊﾟﾗﾒｰﾀ 2 の読み込み	０５	
ﾊﾟﾗﾒｰﾀ 3 の読み込み	０６	
ﾎｰﾙﾄﾞﾗﾝﾌﾟの状態	０８	「ホールドランプの状態について」参照

④ETX：エンドコード
⑤BCC：BCC データ（通信パラメータ C7=1 の場合）

●データ読み込みレスポンス

データ読み込み応答メッセージ構成

STX	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ETX	BCC
①	②		③		④							⑤	⑥

①STX：スタートコード
②アドレス：通信パラメータ C1 で設定したユニット NO
③レスポンスコード
④数値データ

数値データは必ず 7 桁で表します。なお、符号桁は 10^6 桁（最上位桁）でプラスの場合は 0（30H）、マイナスの場合は－（2DH）のどちらかになります。 また、時間表示などで時分区切りの「－」も－（2DH）となります。なお、小数点は無視されます。

（例）

表示データ	ASCII コード						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	30H	30H	30H	30H	30H	30H	31H
999999	30H	39H	39H	39H	39H	39H	39H
-1	2DH	30H	30H	30H	30H	30H	31H
-199999	2DH	31H	39H	39H	39H	39H	39H
99-59	30H	30H	39H	39H	2DH	35H	39H
1.00	30H	30H	30H	30H	31H	30H	30H

「08」　ホールドランプの状態について

前面ランプの状態は 7 桁で表し、その内容は以下の通り G 桁で点灯/消灯を表示します。

前面ランプの状態	④　ASCII コード						
	A	B	C	D	E	F	G
消灯	30H　固定 (0)	30H　固定 (0)	30H　固定 (0)	30H　固定 (0)	30H　固定 (0)	30H　固定 (0)	**30H（0）**
点灯							**31H（1）**

⑤ETX：エンドコード
⑥BCC：BCC データ（通信パラメータ C7=1 の場合）

データ書き込み（上位コンピュータから本機に表示値などのデータを書き込む場合）

●書き込み許可コマンド

比較出力（AL）設定値などのメータ内部データの書き込みが可能です。
データの書き込みを行う場合、まず、書き込み許可の送信を行ってください。（電源投入時は書込み禁止状態になっています。）
なお、「データの書き込み許可」にした場合、「書き込み禁止」にするまで、および、電源 OFF まで書き込み許可状態となります。

書き込み許可要求メッセージ構成

STX	0	0	1	F	ETX	BCC
①	②		③		④	⑤

①STX：スタートコード
②アドレス：通信パラメータ C1 で設定したユニット NO
③識別子

設定内容	識別子
書き込み禁止	０F
書き込み許可	１F

④ETX：エンドコード
⑤BCC：BCC データ（通信パラメータ C7=1 の場合）
注：パラメータのキープロテクトは関係なし。

●書き込み許可レスポンス

書き込み許可応答メッセージ構成

STX	0	0	0	0	ETX	BCC
①	②		③		④	⑤

①STX：スタートコード
②アドレス：通信パラメータ C1 で設定したユニット NO
③レスポンスコード
④ETX：エンドコード
⑤BCC：BCC データ（通信パラメータ C7=1 の場合）

●データ書き込みコマンド

データ書き込み要求メッセージ構成

STX	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	ETX	BCC
①	②		③		④							⑤	⑥

①STX：スタートコード
②アドレス：通信パラメータ C1 で設定したユニット NO
③識別子

設定内容	識別子	備考
表示データの書き込み	１０	
ﾊﾟﾗﾒｰﾀ 2 の書き込み	１５	
ﾊﾟﾗﾒｰﾀ 3 の書き込み	１６	

④数値データ
数値データは必ず 7 桁で表します。なお、符号桁は 10^6 桁（最上位桁）でプラスの場合は 0（30H)、マイナスの場合は－（2DH）のどちらかになります。 また、時間表示などで時分区切りの「－」も－（2DH）となります。なお、小数点は無視されます。

（例）

表示データ	ASCII コード						
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
1	30H	30H	30H	30H	30H	30H	31H
999999	30H	39H	39H	39H	39H	39H	39H
-1	2DH	30H	30H	30H	30H	30H	31H
-199999	2DH	31H	39H	39H	39H	39H	39H
99-59	30H	30H	39H	39H	2DH	35H	39H
1.00	30H	30H	30H	30H	31H	30H	30H

⑤ETX：エンドコード
⑥BCC：BCC データ（通信パラメータ C7=1 の場合）

●データ書き込みレスポンス

データ書き込み応答メッセージ構成

STX	0	0	0	0	ETX	BCC
①	②		③		④	⑤

①STX：スタートコード
②アドレス：通信パラメータ C1 で設定したユニット NO
③レスポンスコード
④ETX：エンドコード
⑤BCC：BCC データ（通信パラメータ C7=1 の場合）

3． レスポンスコード

コード	名称	内容
００	正常終了	通常の動作。
１１	メーターエラー	エラー表示中の場合およびパラメータなどキー設定中。
１２	BCC エラー	受信した BCC と計算した BCC が異なる。 BCC がない。（BCC 有りの場合）
１３	パリティエラー	コマンドフレームのキャラクタでパリティエラーが発生。
１４	フォーマットエラー	受信したフレームが所定バイト数を超えている。 規定外の ASCII コードが指定されている。（数値データなどで）
１５	オーバーランエラー	コマンドフレームのキャラクタでオーバーランエラーが発生。
１６	フレーミングエラー	コマンドフレームのキャラクタでフレーミングエラー（ストップビットが「0」）が発生。
１７	禁止エラー	書き込み禁止状態で書き込みを要求した。 コンパレータ出力無しなのに、AL 設定値変更を要求した。
１８	エリアエラー	設定範囲外の設定を要求した。

※複数のエラーが発生した場合は、エラーコードの小さいものをレスポンスする。

4． 特記事項

①コマンドフレーム内に STX および ETX が組み込まれていない時、レスポンスを返さない。
従って、コマンドフレームにエラーがあってもレスポンスを返さない。
②STX を受信した時点でそれ以前に受信した内容はクリアする。
③通信についてはパラメータのキープロテクトを無視する。
④アドレス（ユニット NO）の該当するメータのみレスポンスする。
該当するメータがない場合は、いずれの子局もレスポンスしない。
⑤通信中もパラメータのキー設定は可能。ただし、通信パラメータの変更は電源再投入で変更した内容で動作します。

5.　通信例

（1）データ読み込み通信例
　ユニット NO.「02」の表示値を読み込む場合。メータから表示値「3656」が返答された。

・データ読み込みメッセージ(上位 PC 側)

STX	0	2	0	0	ETX	BCC
02H	30H 32H		30H 30H		03H	03H

BCC：STX から ETX までの排他的論理和。
03H=02Hxor30Hxor32Hxor30Hxor30Hxor03H
※xor：排他的論理和演算

・応答メッセージ(メータ側)

STX	0	2	0	0	0	0	0	3	6	5	6	ETX	BCC
02H	30H 32H		30H 30H		30H 30H 30H 33H 36H 35H 36H							03H	35H

（2）データ書き込み通信例
　ユニット NO.「05」の表示値を「-2340」に変更する場合。

・データ書き込みメッセージ(上位 PC 側)

STX	0	5	1	0	-	0	0	2	3	4	0	ETX	BCC
02H	30H 35H		31H 30H		2DH 30H 30H 32H 33H 34H 30H							03H	2DH

・応答メッセージ(メータ側)　（正しく書き込み完了した場合）

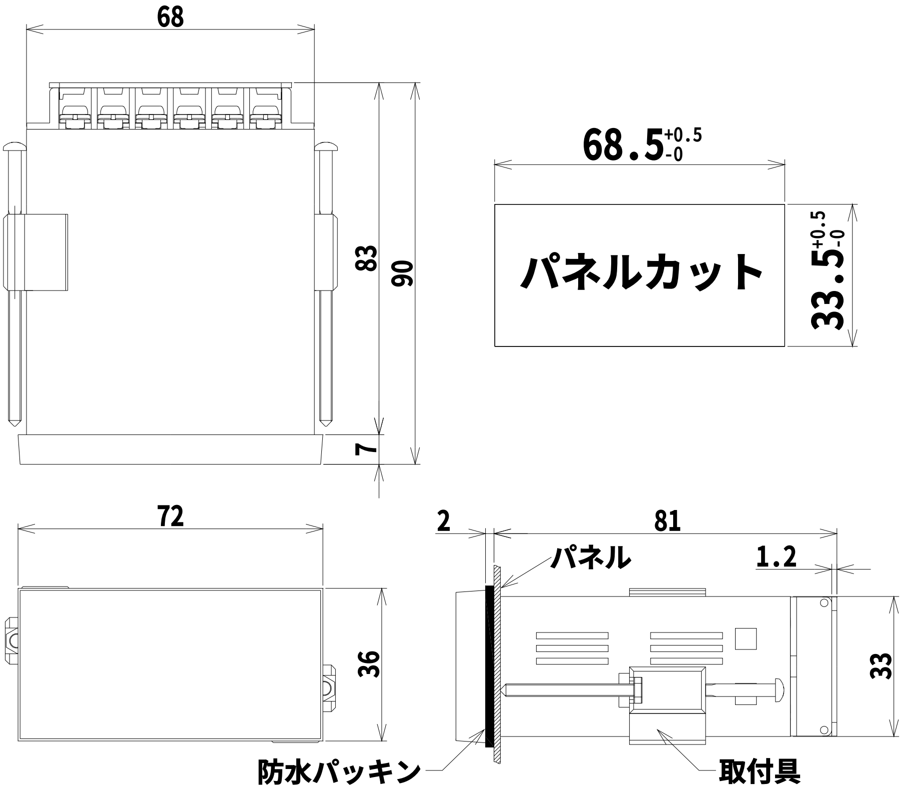
STX	0	5	0	0	ETX	BCC
02H	30H 35H		30H 30H		03H	04H

6.　ASCII コード表

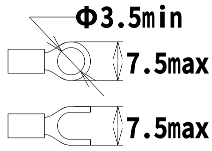
以下コード表の■部分のみ使用します。（STX、ETX および 0～9、F とﾏｲﾅｽ。）

上位 / 下位	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DEL	SP	0	@	P	‘	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	”	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	’	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	|
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DEL

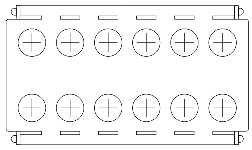
外形寸法図



適合圧着端子



端子カバー



・上下に開閉可能。
・カバー装着後の配線が可能。

ｴﾗｰ表示

機能動作中又は動作以前に設定などに異常があれば以下のｴﾗｰ表示となります。

表示	原因	解除方法
er-2	ﾊﾟﾗﾒｰﾀ設定で(ﾊﾟﾗﾒｰﾀ2の設定値)=(ﾊﾟﾗﾒｰﾀ3の設定値)となった場合、計測ﾓｰﾄﾞでｴﾗｰ表示する。	ﾊﾟﾗﾒｰﾀを設定しなおす。
eror	内部記憶異常で設定ﾃﾞｰﾀ全てが初期値に戻った場合	電源を再投入しｴﾗｰ表示を解除し初期値で計測を行う。 なお、再発する場合はお問い合わせください。

型式構成

MG33 [A]① - T - [E]②

① 電源電圧	
A	AC85V～264V
E	DC11V～30V

③ オプション	
(無)	無
E	DC24Vｾﾝｻｰ供給用電源

商品に関するお問い合わせは
右記へご連絡ください

HENIXヘニックス株式会社
□本　社
〒572-0038 大阪府寝屋川市池田新町 1-25
TEL　072-827-9510　FAX　072-827-9445